

## にいがた産学官共創コンソーシアム 包括連携協定を締結!

令和5年11月30日(木)、「にいがた産学官共創コンソーシアム」の包括連携協定締結式が新潟市の県庁で行われました。コンソーシアムは、本学など工業に関係する教育機関、企業、行政が抱えるさまざまな問題を解決するために、互いの資源やノウハウを活かしながら共創し、課題解決に取り組むことを目的として発足しました。

コンソーシアムでは今後、参加機関による運営協議会を設置し、具体的な連携事項の内容について協議することとしています。



### 【参加機関】

①新潟県教育委員会、②新潟県高等学校長協会工業部会15校(新潟工業高等学校、巻総合高等学校、新津工業高等学校、新発田南高等学校、中条高等学校、長岡工業高等学校、栃尾高等学校、新潟県中央工業高等学校、小千谷西高等学校、塩沢商工高等学校、十日町総合高等学校、柏崎工業高等学校、上越総合技術高等学校、糸魚川白嶺高等学校、佐渡総合高等学校)、③新潟工科大学、④新潟薬科大学、⑤新潟職業能力開発短期大学校、⑥新潟県立テクノスクール、⑦新潟工科大学産学交流会

## ドローン研究施設が完成!

学生駐車場に隣接する多目的広場にドローン研究施設「新潟工科大学 フィールドロボティクス研究室 ドローン性能評価研究試験場」が完成しました。試験場は、幅12m、奥行き24m、高さ10mで、令和5年3月28日(火)に引き渡し完了し、同年4月5日(水)には教職員に向けた内覧会が行われました。

この施設は、本学など4大学と2国立研究開発法人が共同で行う「ドローンの性能評価手法の開発」の事業が、国の機関から採択されたことにより建設されたもので、本学からは、フィールドロボティクス研究室の大金一准教授が参加しています。

研究テーマは「制約環境下におけるドローンの性能評価法の研究開発」。今後、新たな活用が期待され、人々の関心も高いドローンの研究が間近で行われることで、どんな成果が生まれるか注目していきたいと思います。

※ドローン性能評価研究試験場及び、試験場内の設備はNEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)の委託研究開発事業「ReAMoプロジェクト」により設置されています。

